

ラフルの機能の一つ「横浜子育てサポートシステム」を知っていますか？ 地域で子育てを応援している人（提供会員）が、子どもを預かったり、園への送迎をしたりして、子育て中の人（利用会員）をサポートする会員制の仕組みです。子どもを真ん中にして地域で人と人とのつながりが生まれます。

ラフルのひろばでは、皆さんにストラップの着用をお願いしています。青葉台では黄色、市ケ尾では青のストラップを付けている人がいたら、それはラフルのひろばで利用会員の子どもを預かる「子サポ de ラフル」で活動中の提供会員です。「初めて子どもを預ける時は、ラフルだと安心」という声もあります。

子育てサポートシステムでは、日ごろの援助活動以外に、会員向けの研修会、会員同士の交流会も行っています。11/22(金)は全会員研修交流会を1階の安全安心ステーションで行います。利用会員は子どもと離れて、研修をしっかり受けることができます。いつもよりちょっと大勢の子どもが「子サポ de ラフル」で提供会員とひろばで過ごします。大泣きする姿も、つられて泣く姿も、楽しく遊ぶ姿もこの日のひろばでは見ることになりそうです。

ラフルの土曜日のひろばはパパと子の来館も多いです。土曜に限らず、平日も来ています。仕事が休みの日は「子ども担当」と話すパパも増えました。パパのラフル来所者数をコロナ前と昨年と比較すると以下のとおりです。

2019年 青葉台 1,149人 市ケ尾 445人 計 1,594人
2023年 青葉台 1,803人 市ケ尾 655人 計 2,458人

ママに誘われて来ていたパパが、回を重ねるうちに、一人で子どもを連れて来る姿も見られます。ラフルが子どもと過ごす居場所になっているパパが増えています。同時にパパからの相談も増えました。子どもとどこでどう過ごしたらいいだろうと迷ったり、ママの子への接し方との違いに戸惑いや不安を感じたりしている声を聞きます。

これからもスタッフに気軽に話しかけてください。スタッフだけでなく、同じ思いをしている人や専門相談員と一緒に考えていきましょう。

ラフルは、子育てに関わっているすべての人の応援団です。誰もが参加できる講座が多いですが、対象者を絞った講座も開催します。

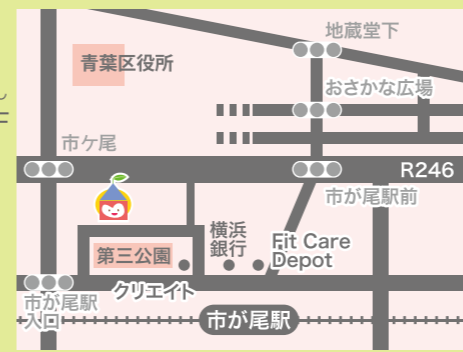
パパ講座「子育てと遊び」 11/30(土) 11:00～12:00
講師：美しが丘保育園 白石保育士 1歳7か月児のパパです。専門家として、また現役乳幼児のパパとして、育児を楽しむために知っておくと便利な遊び方や制度について紹介してもらいます。

孫まご・他まご講座 12/10(火) 10:30～12:00 全区分対象
講師：NPO 法人孫育て・ニッポン 理事長 ぼうだあきこ氏
今どきの子育て事情や子育て・孫育てのポイント、地域の親子を地域の人が応援すること(他まご育て)について話していただきます。

ラフル(青葉台)
10:00～16:00(火～土)
東急田園都市線「青葉台駅」徒歩3分 ※駐輪場あり・駐車場なし
〒227-0062 横浜市青葉区青葉台1-4 6F
TEL:045-981-3306 FAX:045-981-3307



ラフルサテライト(市ケ尾)
10:00～16:00(火～土)
東急田園都市線「市ケ尾駅」徒歩5分 ※駐輪場・駐車場なし
〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町1152-25 1F
TEL:045-979-1360 FAX:045-979-1361



☎横浜子育てパートナー専用
045-507-5570(火～土 10:00～16:00)

休日(ラフル・ラフルサテライト共通)
日・月・祝(月曜が祝日の場合は翌火曜)・年末年始

<https://lafull.net>



facebook Instagram



今月の特集

「ラフルは子育てに関わるすべての人の応援団です」

ラフサポのほっとタイム

「ごはんの悩みどうしてる?(前編)」



ラフル7つの役割

- ひろば
0歳から未就学児・妊婦とその家族が過ごし、さまざまな人と交流する場所です
- ネットワークづくり
地域で子育てを支えあう人と人のつながりをつくります
- 子育て相談
ひろばでスタッフや専門相談員に相談できます。また、電話や相談室でも話せます
- 人材の育成
子育てに関わる研修会や講座の開催、子育てサークル活動の支援をします
- 子育て情報
青葉区内の子育て情報を収集、提供します
- 横浜子育てパートナー
子育て期のなんでも相談窓口、必要な情報を提供して支援につながるようサポートします
- 横浜子育てサポートシステム
地域での子どもの預かり合いをコーディネートします

毎日が見学日

青葉台・サテライト(市ケ尾)ともに開館中いつでもお気軽に見学いただけます。

青葉区地域子育て支援拠点ラフルは、青葉区の委託を受けて、特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ パレットが区と協働で運営しています。

青葉区福祉保健センターよりお知らせ
11月は児童虐待防止推進月間です

育もう、子どもの自己肯定感
～子育ては「たね」をまき、「き」を育てるように～

子どもはうまくいった経験や失敗した経験を積んでいく中で少しずつできるようになることがあります。「頑張ったね」「できるようになったね」などの声かけをしてみると、子どもは「これでいいんだ」「もっと、〇〇するようになりたい」という「前向きな気持ち」や「やる気」が芽生えます。たくさんの承認の言葉(たね)の声かけが前向きな気(き)持ち・やる気(き)を育てます。

良い行動やその過程をほめていきましょう。

一人ではできなくても、誰かと一緒にお片付けができたとき。
順番を待つことができたとき。 など



【相談先】
電話相談
〇月～金 8:45～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)
青葉区こども家庭支援課 045-978-2460
北部児童相談所 045-948-2441
〇24時間365日電話相談
よこはま子ども虐待ホットライン: ☎0120-805-240
LINE相談
〇月～土 9:00～21:00(年末年始を除く)
かながわ子ども家庭110番相談LINE ID:kana_kodomo110

